



魚津市イメージキャラクター  
ミラたん

## 児童と生産者等との交流会食

平成30年度 第3弾 ～松倉小学校～

趣旨：児童と生産者等が触れあう活動を通じて、児童が自分の住んでいる地域の良さを知り、収穫の喜びや食べ物に対する感謝の気持ちを持つなど、食に関する意識や関心が高まります。また、当日の学校給食に使用する予定の地場産食材を生産している方との会食により、地産地消の意義を知り、旬を感じとる力も向上します。

内容：学期ごとに1回、生産者等との交流会食を実施します。（小学校3校を予定）

【日 時】平成31年1月22日（火曜日） 12：20～13：00頃

12：10頃 配膳開始

12：20頃 おいで安、青二菜農園出席者の紹介

12：25頃 会食開始（栄養教諭による献立説明）

【会 場】魚津市立松倉小学校 3階6年生教室（魚津市鹿熊11）

【出席者】魚津市立松倉小学校 6年生14名、6年担任 吉崎智子

おいで安 窪田 悦子

青二菜農園 島澤 佳世子

魚津市教育委員会 島山敏一教育長

【当日の学校給食献立（予定）】

- ① ごはん（魚津市産コシヒカリ100%）
- ② とり肉とかぼちゃの揚げ煮（魚津市産かぼちゃ使用）
- ③ ごま和え（魚津市産野菜使用）
- ④ 卵とじ（魚津市産しいたけ・卵使用）
- ⑤ 牛乳

### 魚津産の食材(使用予定)

米、かぼちゃ、ごまつな、はくさい  
れんこん、生しいたけ、ねぎ、卵  
かまぼこ(魚津市で製造)



### 学校給食週間について

学校給食は明治22年、山形県鶴岡市で昼食を持参できない子どもたちに、おにぎり、塩鮭、菜の漬物を用意したのが始まりです。その後、徐々に全国に広がった給食も、戦争で一時中止になりました。戦争が終わって、昭和21年12月24日に東京都、神奈川県、千葉県の子供約25万人を対象に試験的に実施されました。この日、東京都麹町区永田小学校でうら物資の贈呈式が行われました。パンと脱脂粉乳の給食が再開され、栄養不足の子どもたちを救ったのです。昭和25年からは、冬休みの関係で1月24日から1週間を「学校給食週間」として、全国各地で取り組まれるようになりました。今は、豊かになった日本ですが、当時を振り返り、食べ物に感謝したり、食生活を見つめ直したりする1週間です。

担当部署：魚津市学校給食センター

(所長)藤田 晶子

(担当)関口 暁子 住田 賀津彦

電話：24-2720 F A X：24-3772

E-Mail：kyusyoku@city.uozu.lg.jp